



ナット・ソバネス



カンボジア

所属：公共事業・運輸省

大学：大阪大学

在学期間：2023年4月から2026年4月まで



私は写真が大好きです。大阪は美しいところで、飽きることなく美しい自然や風景を楽しんでいます。もちろん、撮影しないわけにはいきません！



春夏学期の初日、桜が街路樹に咲き誇っていました。一週間後には散ってしまいます。とても美しい瞬間です。

応募理由

耐久性、持続可能性、経済性を達成するため、気候変動の影響を取り入れた道路インフラの管理を開発し、実現したいため。

研究内容

交通負荷のみならず、異常降雨の影響も考慮した舗装劣化予測モデルの開発。さらに、維持管理戦略の最適化と優先順位付けのための意思決定手法の実装の研究。

卒業後の展望

大阪大学を卒業後、日本で学んだ方法論を母国の道路網の舗装管理システムの改善に応用し、より良い道路資産管理のために研究を続けたい。

日本での生活について

研究室のメンバーと協力し、研究室で新しいことを学ぶことを楽しんでいます。また、関西クメール学生協会主催のイベントに参加しました。



マルケス・アナベル



フィリピン

所属：公共事業・高速道路省(DPWH)

留学先大学：広島大学

留学期間：2023年4月から2025年3月まで



友人たちと広島の良い場所を訪れました。



原爆ドームを訪れました。

応募理由

国の道路や橋のモニタリングと評価を改善し、維持・保全するための費用対効果の高い方法を選ぶようになるため。

研究内容

気候変動の影響を取り入れて維持管理作業の優先順位付けの体系的評価を更新し、効率的な維持管理費の支出と修復力のある道路アセットを実現すること。

卒業後の展望

広島大学を卒業した後は、学んだ戦略を取り入れ、国の道路や橋のリスク評価をより正確に行えるよう努力したい。この評価は、ライフサイクルコストの削減を目指し、維持管理と改良に関する優先順位付けと意思決定に寄与するはずである。

生活について

広島県では、フィリピン人や留学生のクラスメートと一緒にたくさんの名所を訪れています。最近では、フィリピン広島大学生組織（PHUSO）が主催するフィリピン独立記念日を祝うイベントに参加しました。このイベントには、日本人の先生、日本人学生、世界各国からの留学生が参加しました。このイベントで、たくさんの新しい出会いと交流がありました。



アンジェラ・オデラ



ケニア

所属：ケニア農村道路局

大学：芝浦工業大学

在学期間：2023年3月から2026年9月まで



研究室の皆さんとボーリングを楽しみました。



2023年春、桜の季節を楽しみました。

応募理由

ケニアで所属する組織の道路アセットマネジメント部門でプリンシパル・エンジニアを務めている。土木工学の理学士号と交通工学の理学修士号を取得している。道路インフラの持続可能な管理に貢献したいと思い、このプログラムに応募した。

研究内容

ケニアの二次幹線道路網の状況とライフサイクルコストを評価し、メンテナンスの優先順位決定システムを開発すること。

卒業後の展望

芝浦工業大学を卒業した後は、母国で研究を続け、道路アセットマネジメントと持続可能な開発の専門知識に貢献したい。

日本での生活について

東京での生活が好きで、2023年3月末に来日し、すでに研究室の仲間やハウスメイト、友人となった他のJICA奨学生と一緒に、多くの興味深い場所を訪れました。また、お好み焼き、焼き鳥、寿司などの日本料理を楽しみました。



ビノド・プラサド・サプコタ



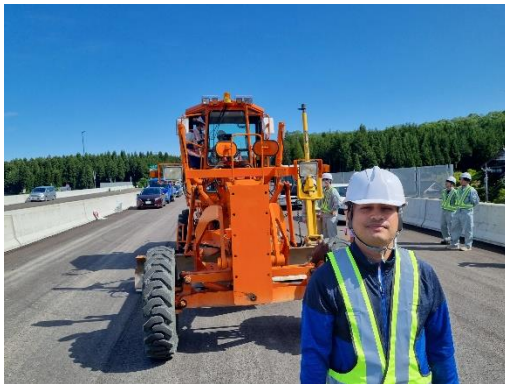
Nepal

ネパール

所属: 国土交通省道路局

大学: 金沢工業大学

在学期間: 2023年4月 から 2026年 4月まで



石川県 能登空港付近
を先生と視察しました。



石川県 千里浜なぎさ
ビーチへドライブしました。

応募理由

ネパールで公務員として働いており、建設管理の修士号を取得した。応募の理由は、母国への技術移転をすることと、特にアスファルト混合物に特化した路面摩耗コースの整備と維持のための最適な方法を見つけることである。

研究内容

アスファルト混合物の挙動における細骨材の影響の解析。今後、研究テーマが変更される可能性がある。

卒業後の見通し

私はネパール政府の正職員であるため、博士課程の研究を終えた後も仕事を続け、自分の知識を政府職員に伝え、ネパールのアスファルト建設の品質向上に貢献したい。

日本での生活

勉強以外にも、夜や朝にウォーキングやランニングをしたり、留学生や日本人学生とサッカーをしたり、大学のジムにも通ったりしています。大学で日本語の勉強もしています。時折、自転車に乗って、知らない場所に出かけます。



キングア・ザンポ



ブータン

所属：国土交通省
大学：芝浦工業大学
在学期間：2023年4月から2025年9月まで



5月、JICA東京が主催するイベントで、他の留学生と一緒に高尾山を訪れました。



6月には研究室のメンバーと日光を訪れました。

応募理由

ブータンの道路アセットマネジメントシステムには、意思決定をサポートする強固なシステムがない。私は研究を通して、その地形や他の様々な課題のために、道路部門で最大の脅威である地盤災害リスクについて研究したいため。

研究内容

ブータンにおける道路アセットマネジメントにおける、投資計画のための意思決定支援システムと予算最適化の強化について。

卒業後の展望

芝浦大学を卒業した後は母国に戻り、留学中に得た知識を通じて既存の道路資産管理システムの改善に貢献したい。

日本での生活について

日本、特に東京では、母国では見られないようなインフラが多く見られます。日本でしか見られないようなものを、小さなことについても、よく観察するようにしています。